



編集 SEF事務局
連絡先 03-3358-4434
URL: <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「Continuity」

村瀬 禎男 理事長

Continuity、日本語では継続性でしょうか。これはずいぶん前に元朝日新聞の扇谷正造さんが書いた本にあったもので、ニューヨーク・タイムスではこの言葉が合言葉になっていたとのことです。以前は定年で社員が辞める時に『あなたの生涯は?』と聞かれると彼は胸を張って『自分はタイムスの Continuity のためその生涯を捧げてきた』と答える。また、新入社員に『これからの君の生涯は?』と聞くと彼は眉をあげて『タイムスの Continuity のために自分は一生懸命働く』と答えていたのだそうです。

ニューヨーク・タイムスは以前に比べるとその信頼性がアメリカでは揺らいでいるとのことで、今でも社員達がそのような態度を持ち続けているかどうかは分かりません。しかしどのような企業・組織にあっても(SEF でも)出来るだけその継続性を維持できることは素晴らしいことであると思います。

11月度理事会より

1、消費税の取扱方針の件 現在SEFは免税業者扱いですが、収入の増加により近く消費税の納税義務が発生する可能性があり、その対策方針が審議されました。 2、「特殊機器販売支援」委託契約の件 M社との委託業務内容を確認し契約調印の方針が確認されました。	3、「電気部品販売支援」委託契約の件 F社との販売支援業務の2件目となる電機部品販売支援の契約が承認されました。 4、報告事項、その他 環境事業に関する最近の成行と、SEFでは初めてとなる月刊誌への広告掲載に関する報告がなされました。
--	---

事業報告 「柏崎刈羽原子力発電所見学会」

担当役員—村瀬・石田

9月度のSEFサロンテーマ(エネルギーと環境問題)に関連して10月30日に会員及びゲストの希望者が参加し、頭書の原発見学会が催されました。同発電所は7系列で820万KWの世界最大の発電能力を有し東京電力管内で使用される電力の20%を供給出来るそうです。昨年7月16日に発生した中越沖地震の際は稼働中の系列全てが安全に停止し環境への放射能の影響は発生しなかった事が確認されています。ただ耐震設計グレードの低い設備(放射能に関連しない一般機器類)の一部で地震による振動、地盤沈下、等の影響による損傷が発生し、その内で電源設備の火災等が大きく取上げられ報道されました。現在連日8,000人に上る作業員が入構し、損傷機器の復旧、全設備の点検および耐震強度向上の工事に取組んでいる様子を目の前にして、より安全性を高めた形での早期稼働再開を願わずにはおられませんでした。

見学をアレンジして頂きました元東電副社長竹内哲夫氏、当日懇切丁寧に案内頂きました東電環境プロジェクト担当部長小池広行氏に心から御礼申し上げます。

SEFサロン

第47回 11月26日開催(於 有楽町 La Stella) テーマ「海外エンジニアリング会社」奮闘記 講師 石田 耕 氏 (NTT東日本—東京南(株)取締役) NTT民営化に伴い幾つかの新しい会社が設立され、そのひとつとして1985年にNTTI(NTTインターナショナル株式会社)がスタートしたそうです。設立主旨としてNTTの技術をベースにして国際社会に貢献してゆく事が掲げられ、主たる事業分野は 電気設備のコンサルティング 情報通信システムのコンサルティング 光通信部品の輸出販売等で世界50カ国、約350件の実績を残し15年後の2000年に解散したそうです。親方日の丸的な旧NTTで育った社員達が、体質の異なる海外向け電気通信・情報通信のコンサルティング&エンジニアリングの事業推進に如何に苦労したかの奮闘記が具体的な事例を基に詳しく述べられ、予定時間を大幅に延長しての熱演でした。	第48回SEFサロン案内 開催日時 H21年1月28日(水) 18時~ 開催場所 有楽町 La Stella 演題 「詳細未定」 講師 小松 昭英 氏 元千代田化工建設取締役・名古屋商科大学教授 次回は年明け1月の開催となります。
---	---

会員動向—11月度

今月度は会員に変動はありませんでした。